

令和5年6月27日(火)

## 中学校の勉強は、必要なものばかりです

野口英世といえば、現在の千円札に描かれている人物として多くの人に知られる存在です。1920年、黄熱病の研究で知られる医学博士の野口英世氏はアメリカに住んでいました。英世は夏休みを利用して、中学校や高校の教科書を買込み、ニューヨークから遠く離れた山小屋にこもって勉強していたそうです。

周りの人たちからは

「世界的研究者のあなたが、何を今さら勉強する必要があるのですか」

と言われたそうです。しかし、英世は

「中学校や高校の学習内容は学問の土台です。そして、人間としての教養の基礎なのです。私は（やけどのため）学校に通っておらず、学校教育をあまり受けていません。だから、こうした教科書の勉強が必要なのです」

と答えたそうです。

中学校の勉強は、みな必要なものばかりです。9教科、そして特別の教科「道徳」の時間、学活や総合的な学習の時間なども含めた中学校の勉強すべてが、将来の土台となる勉強です。是非とも真剣に取り組みましょう。